

英国視察訪問先

団体名	概 要
The Conservation Volunteers (TCV)	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアを中心に、グリーンスペースの再生活動などを全国各地で行う団体。 ● 自由で楽しくをモットーに、地域を改善しつつ、同時に人々を Inspire し、個人のもつポテンシャルの達成に貢献することが目的。 ● ロンドンでは昨年1年間で、12,750 人のボランティアが 272 のグリーン・スペースの改善活動に参加。 ● グリーン・ジム：環境を改善しつつ、同時に健康も向上させようというコンセプト。野外での環境活動に参加し、環境を改善し、同時に身体を動かし、スタミナをつけ、新しい技術を学び、身体と心のトレーニングを行う。 ● 現時点でロンドンの7つの特別区に 15 のグリーンジムがあり、2013 年には Camden および Haringey 区に新たに3つのグリーン・ジムを開設予定。 ● これらのジムの運営は TCV の指導で始まり、徐々にボランティアを研修し、ボランティアによる運営に移行させる。
Thames21	<ul style="list-style-type: none"> ● ロンドンの河川や運河などの顔や声となるチャリティ団体。 ● コミュニティと密に連携し、毎年 9000 人のボランティアを動かし、首都に広がる総延長 640km の河川や運河ネットワークの改善や緑化を進めている。 ● ゴミの除去、新しい植生や生息環境の創造、非土着種の排除、水域へのアクセスの改善、落書きの除去、モニタリングや研究の実施、教育プロジェクトの実施、水質汚染の減少や人間行動を変えるためのキャンペーンの実施など。 ● Keep Britain Tidy, ロンドン港湾局、環境庁、テムズ・ウオーター、19 の自治体などのパートナーシップでスタート。現在は公共団体だけでなく、企業、民間助成団体などから資金を受けて活動。
Groundwork	<ul style="list-style-type: none"> ● グラウンドワーク UK およびグラウンドワーク・ロンドンの今後の発展方向性について ● グラウンドワーク三島とのインターンシップ覚書契約について ● 東アジアにおけるグラウンドワークの発展について
UnLtd	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的起業家および社会的企業の育成を支援する中間団体。 ● 個人への直接的な資金提供、実践的アドバイスやスケールアップ、ネットワーキングなど、統合的な支援パッケージによる支援。 ● UnLtd が提供する資金は、宝くじ基金から出資された 1 億ポンド(約150 億円) 基金の運用収益。この資金は「コアプログラム」を通して提供され、加えて追加の資金を使ったプログラムも運用。 ● 組織形態はチャリティ団体であり、「個々の社会的起業家がおもつエネルギーが、社会を刷新する大きな力となる」ことが設立理念。 ● イギリス国内 6ヶ所にオフィスをもち、幅広い背景、人種、年齢層の個人起業家を支援する。

<p>UnLtd</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの内容は多彩だが、すべてに「現状の変化と改善」という共通点がある。現在動いている支援プロジェクトはつぎの通り： <ul style="list-style-type: none"> ①Do It Awards：アドバイスが中心 ②Fast Growth Awards： ③Star People Awards：Big Local Area での活動。£500 to £15,000 ④Live UnLtd：11～21歳が対象。Development Manager が支援。最大 £5000 ⑤HE Support：大学の職員、学生、大卒者が対象。2009～2011年に100万ポンド、約200の社会的ベンチャーを支援。2013年から新たなキャンペーンを開始。 ⑥Big Venture Challenge：宝くじ基金からの別途資金をもとに、年間約30の意欲的な社会的起業家を支援し、ビジネスエキスパートの支援を受け、より大きな社会的インパクトを目指す。2015年までの3年間プロジェクト。
<p>Project Dirt</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2人の男性（友人）が2008年に開始した Green Social Network。 ● ソーシャル・ネットワークを活用し、個人、コミュニティ・グループ、企業、団体および政府（主に自治体）などが連携し、相互学習し、具体的な環境プロジェクトを開発するためのプラットフォームを提供。 ● 2008年4月に1つのプロジェクト、4人のメンバーで開始。その後、口づてで急速に拡大し、2012年初めには5000人のメンバー。 ● 環境活動には多くの人々や団体がかかわっているが、多くの場合が同じことの繰り返しであり、相互学習も容易ではない。Project Dirtsでは人々や団体によるコラボレーションを可能にし、環境問題を考え、具体的な成果を出すことを支援する。 ● Project Dirtの基本姿勢は、人々のスキル、粘り強さ（tenacity）、タレント、情熱などが社会を変える力をもっているということ。Project Dirtのねらいは、それらの資質を発揮させるプラットフォームを提供すること。
<p>National Trust</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地や建物の買い取り運動などを通して、国家的遺産に値する自然や文化的資産を保全する団体。 ● 今回はロンドンにおける歴史的建造物保全活動について話を聞く。
<p>Eden Project</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘土採掘跡地に造成された「人間と植物」をテーマとするテーマパーク。イングランド南西部における有名な観光地であり、同時に教育チャリティであり、社会的企業でもある。 <ul style="list-style-type: none"> – 地域経済の重要なドライバー（牽引役） – 忘れがたい学習機会の提供 – 植物および環境保全のための研究活動 – できるだけグリーンな形での設備の運営 – Eden チームの専門性を活かした社会的、環境的プロジェクト ● 2001年にオープン。160年間の陶土採掘跡地の再生プロジェクト。最初の10年間の入場者は1300万人。スタッフ数はフルタイム換算で445人（2013年は70人削減予定）

Eden Project

- Eden で実施しているプロジェクト（一部）：
 - **Clear About Carbon**：低カーボン経済への移行の推進。公共団体、企業スタッフの研修、低カーボン資材の購入など。
 - **ClayFutureプロジェクト**：地域におけるエコ・タウンの形成（自治体からの助成）。創造的な住民参加手法を活用し、住民の関心と意欲を高める。3歳から98歳が参加。
 - **持続可能なツーリズム**：「China Clay County」をブランドとして、そこでのヘリテージ、文化、特殊な景観を活用したツーリズム体験の開発など。
 - **Cornwall Together**：エネルギーの集学的購入パートナーシップ。約2万世帯の参加により、エネルギー経費を10～15%減少。
 - **Eden 地熱プロジェクト**：Eden プロジェクトの駐車場に、熱と電力発電のための施設を計画中。将来的には、Eden プロジェクトのエネルギー自給だけでなく、周囲の約3500世帯の電力も賄う予定（発電規模は3～4メガワット）。
 - **Growing for Life**：刑務所内での学習活動。地域の社会的企業とも連携して受刑者を支援。刑務所内に菜園を作り、野菜などを精査し、周囲の学校やコミュニティに提供。園芸技術、生活スキル、エンタープライズ・スキル、コンピュータ技術などを習得。刑務所を運営するCisco とのコラボレーションプロジェクト。
 - **Real Cool Futures**：多くの若者が自分のタレントを、未来のプラス変化に使いたいと考えている。食料からファッションまで、すべての活動が環境に影響する。若者失業者などに機会を与え、彼らをネットワークでつなぎ、新しい仕事の可能性を探らせる。
 - **Creative Community Engagement**：アート、音楽、物語、ユーモアなど、ユニークな方法論を使った住民参加イベント。住民の地域への関心や期待を引きだし、地域づくりに活用する。
 - **The Eden Climate Fund**：気候温暖化に対応するための募金活動。集まった資金は主に発展途上国で活用。
 - **The Big Lunch**：全国でのコミュニティ昼食会。2012年には850万人が参加
 - **Barefoot Games**：野外体験機会の少ない若者へのボランティア機会の提供
 - **21世紀の生活プロジェクト**：100家族を選択し、日常生活での環境負荷低減をモニタリング。グリーン化のための500ポンドの支給。企業スポンサーシップを受けて。
 - **Gardens for Life**：イギリス、ケニア、インド、ガンビアなどの国の学校をつなぎ、ガーデニングだけでなく、食の安全、週の多様性、違った生き方などを学ぶ機会の提供
 - **ビジネス開発プログラム**：Eden の敷地を「生きた教室」として活用し、Eden チームのノウハウを生かした2日～4日の短期トレーニング・コース。
 - **Eden マラソンの実施**：経済活性化の一環として。